

第53回徳島県高校放送コンテスト
番組部門上映時間

No.	作品名	よみがな	ジャンル	時間	学校名	制作意図・作品概要
ラジオ部門						
1	広がる世界	ひろがるせかい	ラジオドキュメント	13:33~13:40	徳島市立高校	これからの社会を支えていくのは私達高校生です。近年、世界ではグローバル化が進んでいますが、この状況に対応していくために高校ではどのような取り組みが行われているのでしょうか。また、留学生を迎えたことは生徒達にどのような影響をもたらし、成長させたのでしょうか。高校生がより世界を身近に感じていく過程を伝えたいと思い、この作品を制作しました。
2	セクシュアルマイノリティ～中高生集会を通して～	せくしゅあるまいのりてい ちゆうこうせいしゅうかいをとおして	ラジオドキュメント	13:40~13:47	徳島北高校	昨年12月17日に開催された「中・高生による人権交流集会」。今回、第1分科会のテーマは「セクシュアルマイノリティ」でした。レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーなどといったセクシュアルマイノリティの人々の存在は、メディアの影響によって少しずつ知られるようになってきています。しかし、セクシュアルマイノリティの人々への差別は、未だに公然と行われており、当事者やその家族、友人を傷つけ続けています。私たち放送部は、「性の多様性」を守るためにどう行動するかを探るため、集会のスタッフとして1年間取材を続け、この番組を制作しました。
3	早朝爽快なれば	そうちょうそうかいなれば	ラジオドキュメント	13:47~13:54	城北高校	城北高校で毎朝当たり前のように行われている早朝補習ですが、中には早朝補習を行う意味はあるのかと疑問に思っている生徒や欠席したり遅刻したりする生徒もいます。生徒の望む進路に進むために朝の時間を有効に使ってほしいという先生の思いから40年前に早朝補習が始まったということを知れば、今まで以上に意味のあるものとして受けられるのではないかという思いから制作しました。
4	伝えたいことがあるんだ	つたえたいことがあるんだ	創作ラジオドラマ	13:54~14:00	富岡西高校	「大切なものは失って初めて気づく。」私たちににとって一番身近な存在となるのはやはり家族です。私たちが何かで挫折しそうになった時、失敗して落ち込んでいる時、いつもそっと側で見守ってくれます。しかし私たちはそのぬくもりになかなか気づくことができません。家族がいることのあたたかさや幸せを改めて多くの人に気づいてもらい、私たち自身も家族に対する感謝の気持ちを伝えたいと思い、このラジオドラマを制作しました。
5	right:rewrite	ライト:リライト	創作ラジオドラマ	14:00~14:08	徳島市立高校	皆さんは『個性的』と言われることを、どう感じますか?…現代の高校生は個性的と言われることに抵抗を感じる割合が高いようです。人はそれぞれ、運動能力や学力など違いを持っています。それも、立派な個性の一つなのです。想像してみてください。みんながみんな、同じような人間である世界を…おそらく、退屈な世界となるでしょう。自分の個性を大切にしたい。このことを伝えたいと思い、この番組を制作しました。
6	幽霊部員	ゆうれいぶいん	創作ラジオドラマ	14:08~14:17	徳島北高校	今しかできないことは、たくさんあると思います。その時にできなかったことは一生後悔する出来事になるかもしれない。何かをしないで後悔するより、まずは一歩踏み出してほしい、そういう勇気が出せたらと思います。この番組を制作しました。
7	STAR☆ADVENTURE	すたー あどべんちゃー	創作ラジオドラマ	14:17~14:25	徳島北高校	電車などの公共交通機関で、お年寄りや妊婦の方に席を譲ること。一人で泣いている子どもがいたら、声をかけること…。こうした何気ない「思いやり」は、自分も相手も笑顔にします。しかし、迷惑がられるのが怖かったり、人前で行動するのが恥ずかしかったりして、なかなか実行に移せない人も多いのではないのでしょうか。誰かのために行動することは、自分自身の成長につながり、いつか自分が困ったとき、必ず返ってくるものです。助け合って生きていくことの大切さを皆さんに身近に観じてもらいたいと思い、このドラマを制作しました。
8	忘れてください	わすれてください	創作ラジオドラマ	14:25~14:33	城北高校	忘れ物をして困ったり、約束を忘れて怒られたりといった経験は誰にでもあるだろう。胎児の頃の記憶を持っている人がほとんどいないことからわかるように、人間は昔のことをどんどん忘れていく生き物である。しかし、私たちは誰かの記憶によって生きており、人との約束を忘れることはその相手を忘れてしまうことだと思う。何を忘れてはいけないのかをよく考えてほしいと思い、この作品を制作しました。
昨	夢見列車	こうかんどめがね	創作ラジオドラマ	14:33~14:41	城北	★昨年度最優秀作品
テレビ部門						
1	To Be Continued	トゥービーコンチニュード	テレビドキュメント	14:50~14:58	徳島市立高校	どの学校にも必ずある部活動。メジャーな部活動から、その学校にしかないような部活などその種類は様々です。私たちの学校には「電子計算機部」という一見なにをしているのか分からない部活動が存在します。取材を通して明らかになった電子計算機部の実態や、所属している人の意外な一面、そして大きな問題についてまとも
2	少女漫画＝女子？	しょうじょまんが いこーる じょし	テレビドキュメント	14:58~15:06	徳島北高校	「少女マンガ」あなたはこの言葉を聞いてどのようなことをイメージしますか？恋愛に関するマンガ、女性が読むもの… それぞれの人がそれぞれのイメージを描くと思います。しかし、そのイメージは先入観にとらわれていませんか？先入観は皆さんが気づかないうちに持ってしてしまうものです。偏った角度から物事を見ると冷静な判断は難しくなってしまいます。皆さんにはそれぞれが持っている先入観を一度見直して欲しいと思い、この作品を作りました。
3	私たちが身につけていくもの	わたしたちが身につけていくもの	テレビドキュメント	15:06~15:14	城北高校	私たちが通う城北高校では一昨年制服のデザインが変わりましたが、スカートを短くするなどの着崩しをしている生徒も見受けられます。制服をきちんと身に着けることにより、校則などの規定を守ることを「身に付ける」力を養うことができ、今まで学校が歩んできた歴史を「身に付けて」、先輩が守ってきた伝統を受け継いでいくことに繋がります。生徒たちにもっときちんと制服を着て欲しいということを伝えたくて制作しました。
4	モスキート	もすきーと	創作テレビドラマ	15:14~15:23	城東高校	自分の失敗を人のせいにして、あるときは努力の足りなさを棚に上げたり。誰もが経験を持ち、また、それを認めることを遠ざける。しかし、本当に大切なことは失敗しても反省し、よりよい未来を創ろうとすることではないだろうか。この作品では、過ちを認めることを嫌いながら、やがて反省していく高校生を描いた。そして、大人になる一歩前の学生期の失敗と挑戦を伝えるために、大人には聴こえない音に絡めて表現した。
5	独裁者遠藤伝	どくさいしやえんどうでん	創作テレビドラマ	15:23~15:31	阿波高校	この作品のテーマは、「自分の判断基準を他者に押し付けてはいけない」ということです。この作品では、遠藤が不良高校の生徒を鎮圧し、学校の平和を取り戻しました。しかし、彼にとつての「正義」を追求し続けたために、独裁的な恐怖政治を学校の生徒に押し付ける結果となりました。これは現代社会にも言えることであり、「自己の正義」と「他者の正義」は両立しないのであろうか、という二律背反を指摘しました。
6	夢売りが夢売り歩く夢売りの声	ゆめうりがゆめうりあるくゆめうりのこえ	創作テレビドラマ	15:31~15:39	徳島市立高校	誰も夢を持っていません。それは、将来の仕事のことかもしれない、はたまた今日という日を気の合う仲間と過ごすことかもしれない。大きな夢小さな夢さまざまな夢があり、それを叶えようと人はみな努力します。ですが、どうしても叶えられないと思われる夢もあります。そんなとき、なんでも夢を叶えてくれる人が現れたらあなたはどうしますか？自分の夢の価値を再認識してもらいたくて、この作品を作りました。
7	常識じゃなくて	じょうしきじゃなくて	創作テレビドラマ	15:39~15:47	城北高校	皆さんには、「自分の打ち込めるもの」はありますか？それがあると、学校生活がよりいっそう楽しいことでしょう。しかし、打ち込めるものがなければ、学校生活は少し物足りないように感じるとも思います。長いようで短い高校生活を楽しく悔いがないように過ごし、そして将来高校時代を振り返るときに楽しかったと思えるようにと考え、これを制作しました。
昨	好感度めがね	こうかんどめがね	創作テレビドラマ	15:47~15:55	徳島市立	★昨年度最優秀作品

※今回は参加作品が少なかったため、全エントリー作品を上映します